

令和6年2月8日

上田市教育委員会  
教育長 峯村 秀則 様

上田市学校給食運営審議会  
会長 山邊 久史

## 令和6年4月1日以降適用分の学校給食費について（答申）

令和5年12月1日に貴職から諮問を受けた、令和6年4月1日以降適用分の学校給食費について、本審議会は慎重な検討を重ね審議した結果、下記のとおり答申します。

### 記

学校給食は、成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康の増進、体力の増強を図るとともに、食習慣と食に関する正しい知識を身に付けることができる。

また、地場産物や郷土料理を通じ、地域の文化・伝統に対する理解や関心を深めるなど、高い教育効果も同時に期待できる。

物価高騰が続く中、学校給食摂取基準を満たし、安全・安心で多様な食材を適切に組み合わせで立案された献立を調理し、児童・生徒が成長期に必要な栄養素を確保するための質や量を維持する必要がある。

本審議会は、令和6年4月1日以降の学校給食費の保護者負担額を審議するものではなく、適正な給食費の額を審議するものである。

このことにより、令和6年4月1日以降の給食費は、本審議会で自由で活発な議論を尽くした結果、一食当たりの単価を別紙のとおり改定することが妥当であると答申する。



## 1 答申の考え方

### (1) 令和6年4月1日以降適用分の学校給食費について

現行の学校給食費は令和5年4月に改定されたものであるが、その後も公益財団法人長野県学校給食会が価格の決定を行う主食（ごはん、パン、ソフト麺）や長野県教育委員会が所管する牛乳価格の大幅な上昇に加え、主菜、副菜、汁物などに係る食材費の物価が上昇し、調理現場では食材やメニューを工夫し給食を提供している。

物価高騰が続く中、学校給食摂取基準を満たし、安全・安心で多様な食材を適切に組み合わせ立案された献立を調理し、児童・生徒が成長期に必要な栄養素を確保するための質や量を維持できる学校給食を提供するためには、現行の給食費1食当たり小学校で23円、中学校で24円引き上げることがやむを得ない。

### (2) 丸子地域の中学校における給食費の増加分について

丸子学校給食センターでは、小学校と中学校の献立が同一メニューである中、中学生の成長期に必要な栄養素の摂取が不足しがちとなり、月に数回、乳製品等を1品追加し、生徒の成長に必要なカルシウムや鉄分等をバランスよく摂取できるようにする必要があるため、現行の給食費1食当たり30円引き上げることがやむを得ない。

### (3) 真田地域の長小、傍陽小、本原小、菅平中における給食費の増加分について

児童生徒数が減少傾向である中、真田地域の自校給食校では食材の仕入れ業者が限定される。購入量も少なく、大量に発注する学校給食センターと比べて食材購入にかかるコストが割高となることから、長小、傍陽小、本原小の現行の給食費1食当たり33円、菅平中の現行の給食費1食当たり32円引き上げることがやむを得ない。

### (4) 主食及び牛乳の大幅な価格上昇に伴う給食費の増加分について

例年、次年度の主食及び牛乳の価格決定が2月末頃になり、その価格が大幅に上昇すると、主菜、副菜、汁物に係る食材費への影響が大きいことから、主食及び牛乳の値上げ幅が大きい場合（今年度価格比10円以上）はそれを考慮し、給食費を引上げること（値上げ額（10円未満は切り捨て）を上限に検討）はやむを得ない。

学校給食運営審議会での審議を行う中で、次の意見が出された。

## 2 意見

(1) 物価高騰が続いているが、質や量、栄養バランスを確保した学校給食の提供に努めること。

(2) 丸子地域中学校及び真田地域の長小、傍陽小、本原小、菅平中における増加分については、保護者に対して丁寧な説明を行うこと。

(3) 上田市の学校給食について、保護者の理解を深める取組に努め、広報うえだや市のホームページ等を通じて上田市の食育を掲載するなど、上田市独自の良さを情報発信していくこと。

### 3 令和6年4月1日以降適用分の学校給食費

改定額

**小学校：製品（牛乳・主食）単価上昇分 11円 + 物価動向分 12円 = 23円**  
**中学校：製品（牛乳・主食）単価上昇分 11円 + 物価動向分 13円 = 24円**

小学校

施設名（受配校）	現在の給食費		R6年4月以降の給食費		増加額
	低学年	高学年	低学年	高学年	
第二学校給食センター区域	287	307	310	330	23
丸子学校給食センター区域	287	307	310	330	23
菅平、武石小学校	287	307	310	330	23
長、傍陽、本原小学校	277	297	310	330	33

中学校

施設名（受配校）	現在の給食費	R6年4月以降の給食費	増加額
第一学校給食センター区域	346	370	24
丸子学校給食センター区域	340	370	30
菅平中学校	338	370	32
真田中学校	346	370	24

改定額の積算

製品単価（牛乳・主食に係る単価）の比較

種類		R4		R5		引上げ額		
牛乳（200ml）		61		67		6.0		6
主食	米飯 100g	63.1	平均 59.5	67.8	平均 64.7	4.7	平均 5.2	5
	パン 70g	54.5		60.6		6.1		
	ソフト麺 80g	51.4		57.5		6.1		
合計						11.2	11	

※主食の平均は、提供回数を考慮

物価動向（消費者物価指数（食料） R5年11月時の前年同月比を適用）

	R5年度					物価上昇分（R5.11）			
	給食費	牛乳	主食	計	おかずのみ	上昇分	おかずのみ	引上げ額	
小学校低学年	287	67.0	64.7	132	155	7.3%	11	平均 12.7	12
小学校高学年	307				175		12		12
中学校	346				214		15		13

## 審 議 の 経 過

本審議会は、上田市附属機関に関する条例の規定に基づき、令和4年10月28日に設置された。令和5年度は、第1回目に教育長から令和6年4月1日以降適用分の学校給食費についての諮問があり、併せて、学校給食の概要の説明があった。

第2回目に事務局より学校給食費の改定（案）が示され、提示された資料をもとに協議を重ね、第3回目に答申（案）の内容が決定し、答申に至った。

回	開催日	内 容
第1回	令和5年12月1日	1 委嘱状交付 2 諮問 3 学校給食の概要説明 4 概要説明に係る意見・質問
第2回	令和6年1月12日	1 概要説明に係る意見・質問に対する回答 2 学校給食費の改定（案）について 3 改定（案）に係る意見・質問
第3回	令和6年2月1日	1 学校給食費の答申（案）について 2 答申について

上田市学校給食運営審議会委員名簿（委員は五十音順・敬称略）

会 長	山 邊 久 史	副会長	小 池 瑞 季
委 員	天 野 み ち る	委 員	遠 藤 良 和
委 員	金 井 剛	委 員	城 下 敦 子
委 員	城 田 真 裕	委 員	永 井 幹 則
委 員	八 卷 恵 子	委 員	横 澤 智 昭